

---

# 小走りホラー・二番煎じ

弥招 栄

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

小走りホラー・二番煎じ

### 【Nコード】

N8595B

### 【作者名】

弥招 栄

### 【あらすじ】

ショート・ショートホラー集です。背中を一瞬で走りぬける戦慄が、ここに……あるか？

## （前書き）

この作品は、影之兎チャモさんの『小走りホラー』に触発されて書いたものです。

この場をお借りして、タイトルの使用を許可していただいた影之兎チャモさんにお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

では、二番煎じではありますが、どうぞ^^

私も小走りでホラーを考えてみた。

朝起きたら、隣りに見知らぬ女が眠っていた。

その隣りには、見知らぬ赤ん坊が眠っていた。

その隣りには見知らぬ少年が……

その隣りには……

その……

俺が。

「かみさま、ぼくはどうなってもかまいません」

小さな手が、一心に合わされている。

「だからおねがいです。いもうとだけは、ぜったいにしあわせにしないでください」

ずるずると、わたしの後ろを音がついてくる。いくら急いでも、ずるずると。

もう我慢できなくて、わたしは振り向いた。なんだ……

わたしの赤ちゃんじゃない。へその緒でつながったままの……

（ねえ、もうやめてったら……フフ）  
目覚めは最悪。別れた男の夢を見るなんて。  
もっと最悪なのは、あいつが自殺したってニュースを、今やって  
いること。

友人に、顔色が悪いぞって言われた。でも自分では分からないんだ。  
だって俺、今朝から鏡に映らなくて。

だからぽつとん便所って嫌いよ。  
ねえっ。あたしの上にクソしないでっ。

「今日のタン塩、うまいなあ」  
俺が褒めると、彼女は何も言わずに、ニツコリと笑った。  
……どうして今日は、こんなに無口なんだろう？

「金の斧で頭を割られるのと、銀の斧で首をはねられるの、どちら  
がいいですか？」

「どっちも嫌です」

「まあ、あなたはなんて正直なのでしょう。ご褒美にどちらも……」

だるまおとししようよ。ね。いくよ。せえの。  
ぐしゃ。

ぶらんこ、ぶらんぶら。

あの人、目の前で笑っていた。三年前に亡くなってからも、ずっと恋い焦がれていた、あの笑顔。  
ぼくは思わず頬を抓った。痛くない。やっぱり夢だ。いや、それでも構わな

「うつん。夢じゃないわ。いらっしやい」

（おしまい？）

け  
ら  
け  
ら

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8595b/>

---

小走りホラー・二番煎じ

2010年12月8日02時36分発行